

地形・地質

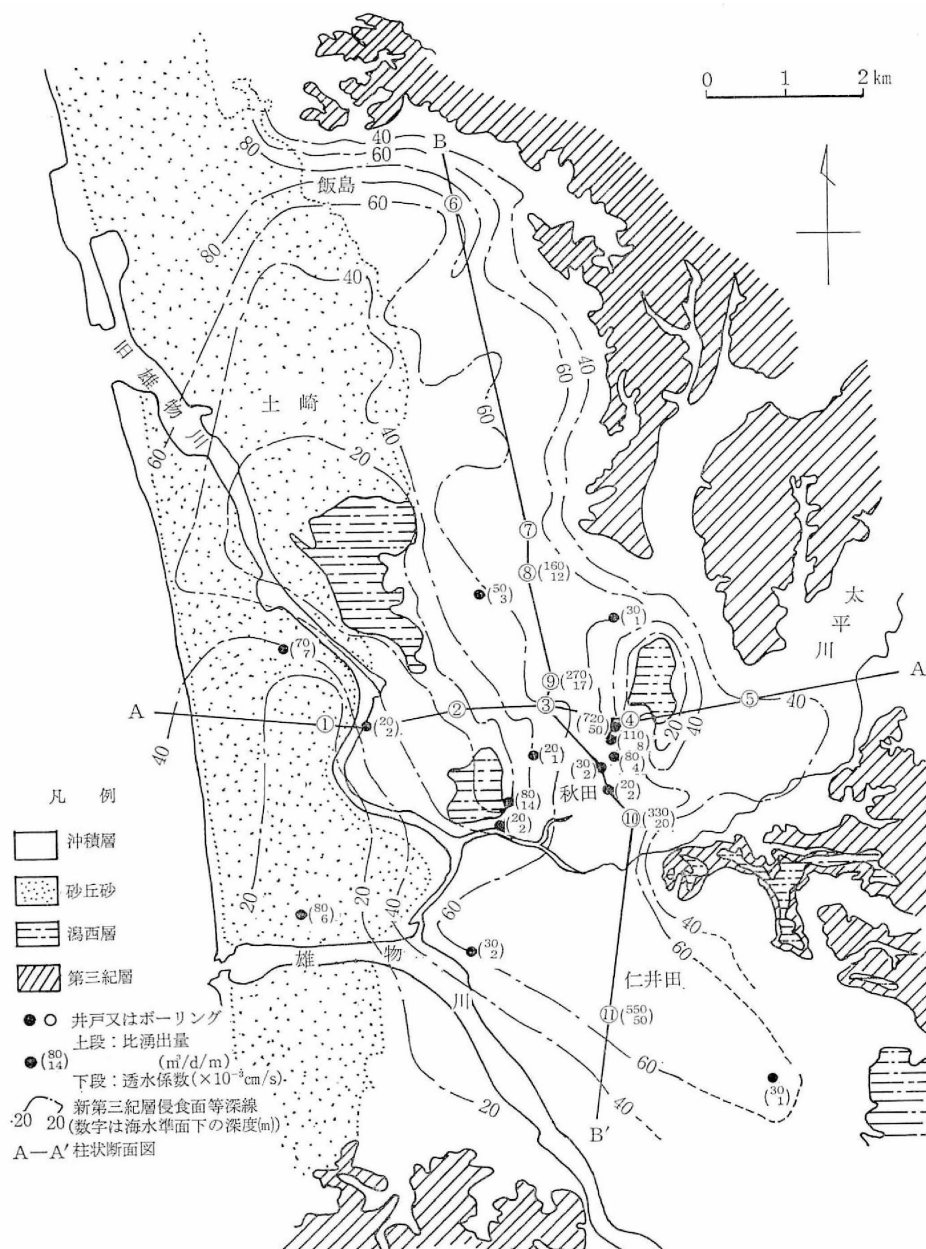
秋田平野は、雄物川最下流部一帯に広がる低地帯で、東側の丘陵地と西側の海岸砂丘地に挟まれた南北に細長い地域です。地形は、丘陵地・海岸砂丘地および沖積低地に区分できます。

秋田平野の地層層序表

時代	層序		模式図	岩質
第四紀	完新世	沖積層		泥・砂・礫
		砂丘堆積物		砂
	更新世	段丘堆積物		泥・砂・礫
		潟西層 (層厚40～80m)		礫・砂・泥(泥炭を挟む)
新第三紀	鮮新世	高岡層 (層厚30～100m)		細粒～中粒砂岩(基底部に礫・泥炭) ←酸性凝灰岩
		笹岡層 (層厚200～500m)		細粒～中粒砂岩(ところによりシルト岩が優勢となる) ←酸性凝灰岩
				下部および基底部に礫岩 ←酸性凝灰岩
	新世	天徳寺層		暗灰色シルト岩
		羽黒山 石英安山岩		石英安山岩・凝灰角礫岩・火山礫凝灰岩(溶岩・安山岩火山碎屑岩を伴う)
	(層厚400～1,500m)	互層相		中粒～粗粒砂岩・シルト岩
		桂根相		砂岩・礫岩(酸性凝灰岩を挟む)

地下水

低地部での帯水層は、第三紀浸食谷の埋積層中の砂や砂礫層で、地表下 20~40m にストレーナーを設けた井戸が多いです。低地のほか、砂丘砂層、段丘堆積物および潟西層中の砂礫層にも地下水が賦存し、小規模ながら利用されています。



秋田平野の水文地質図

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）